

事業再生のパフォーマンス比較と経営者交代の効果の分析

小野 伸一

目 次

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. はじめに | 4. 実証結果の報告 |
| 2. 関連文献 | 5. 分析のまとめと実務上の課題 |
| 3. 仮説とサンプル収集、仮説検証の方法 | |

わが国で2000年代に増大したM&A型事業再生のパフォーマンスや経営者交代の効果、事業再生の類型決定要因などの分析を行った。その結果、M&A型事業再生のパフォーマンスは非事業再生型M&Aや単独型事業再生（注1）を平均的に上回ること、事業再生のパフォーマンスは経営者交代により向上すること、事業再生はイベント前の経済環境が厳しい方がむしろパフォーマンスが向上することなどが見いだされた。なお、本論文は本文と補論で構成されており、詳細を補論で述べている部分については本文中に注が付けられている。

1. はじめに

わが国では、2000年代に入って、私的整理型（注2）の事業再生が本格化（注3）する中で、スポンサー企業による支援の形でM&Aが活用されるM&A型事業再生も増大し、これとともに経営者交代を伴う事業再生も増大することとなった。筆者は、産業再生機構での勤務経験から、このような形で行われる事業再生のパフォーマンスは相対的に優れているのではないかという実感を有しているが、これまで必ずしも十分に実証されているわけではない。そこで、本論文では、これ

らの実証を試みるとともに、経営者交代以外のパフォーマンス決定要因や、事業再生がM&A型になるか単独型になるかの決定要因についても併せて分析を行い、実務へのインプリケーションを探ることとする。なお、M&A型事業再生は、事業再生とM&Aという二つの特徴を有していることから、パフォーマンス比較を行う場合には、事業再生の切り口からM&A型事業再生と単独型事業再生の比較を行うとともに、M&Aの切り口からM&A型事業再生と非事業再生型M&Aの比較を行う必要があり（図表1）、これが分析の基本的なフレームワークとなっている。



小野 伸一（おの しんいち）

参議院財政金融委員会調査室長。東京大学経済学部卒業、一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻修了（経営修士）。1981年通商産業省（現経済産業省）入省。中小企業庁調査課長、創業連携推進課長、埼玉大学大学院経済科学研究科客員教授、内閣官房内閣参事官、産業再生機構執行役員、参議院委員部第八課長、第二特別調査室長、記録部長などを経て、13年より現職。著作に『平成10年版中小企業白書』（共著、1998）など。